

佛日守護のもと自然の恵みを頂き有意義に過ごす明るい家族」が今年のスローガンです。二月に入り、少しずつその形態を構築しながら生活の基盤が何であるのかが分かってきたと思います。天地の恵みに感謝出来、日々の暮らしを有意義に過ごす事が出来れば自然に気が充実してくるはずです。子供は親の背中を見て育つ」と言いますが大抵の動物は見様見真似で成長していきます。要するに物まねから全てが始まると言って過言では無いと思います。ですから子供の出来が悪いと言う事は即、親の出来が悪いと言う事に成ります。まんま、まんま」と言いながら親も口を開けて見せながら我が子に食べさせた経験をお持ちだと多いです。信仰も同じ事で、見様見真似からはじまる訳です。家に信仰が浸透しておれば自然に家族全員に信仰が行き渡る訳です。当山檀信徒以外の家庭に於いて、家族揃っての宗教行事がどれ程行われていくでしょうか。老夫婦の専属に成っていませんでしょうか。高校入試、大学入試、入社試験等親族が代わっての代理試験は認められません。と同じ様に信仰も代理は出来ません。ですから神社、仏閣に於ける祈願供養等々の答礼は勿論本人が行うべき事です。もちろん本人を含め家族揃って答礼出来れば最高です。一般的に家族制度が壊れてきました。散世代)ので、食事すら家族揃って頂きます」が出来ている、家庭が少なく成ってしまったのではないのでしょうか。私が家族と称するのは本家にあつては三世代が揃つての一家を指し、分家にあつては三世代を目指す、族とはそういう人間の構成をいいます。家庭の崩壊がとりざたされますが庭の無い家が増えた事にも一つの原因があると思います。箱物の中で心のゆとりを保つのは難しいと思われます。日本の中で、ひきこもり」と称される人口が七十万人を超えたそうです。自身の能力を過信しての失敗等々色々問題はあつてでしょうが育つた家庭環境に信仰が継承されていたのか、自分も継承したか如何か氣に成るところです。信仰の基本は、心身の健康」にあります。健康の基本」は勿論食生活にあります。人間は自然に生育した食物を食べるのが一番です。しかし現在の食生活を考えると見ますと、五穀以外は季節感が無く年中食べる事が出来るようです。その為には人間が色々な手を加えて出荷し、自然の作用を無視している訳です。一応人間の人体には悪影響を及ぼす事は無いはずですが、又、近い将来に於いては空気も清浄機、水も浄水器を必要とする世の中に成つてきそうです、自然の成り合いに人間が反旗を翻した結果に他ありません。もう一度私利私欲から離れ天地自然の恵みを受け感謝する生活に戻るべきでしょう。飛行機から出る排ガス、エネルギーを得る為に出る排ガス等で空が汚れるから水も汚れる当たり前前の事です。そして気も汚れ、塞がれてしまうの

でしょう。先程の話の様に物まねから成長して行く訳ですが完全に盗み取った後どうするかです。それは対象ランクを上げながら、ランクの下の人間には俺の真似をして俺について来い、間違いの無い人生を歩ませてやるから、と言う人間見本に成る事でしょう。

今月八日には当山の七草法要が勤修ごんしゆされます。ご存知のように当山の御本尊一光三尊善光寺如来様は越後の国（今の新潟県高田市）の高田城主みなもとのみつな源光長公かんとくご夫妻が感得かんとくされた秘仏ひぶつです。ご夫妻は信濃の国の善光寺にお祀りされている善光寺如来様を深く信仰され一度その御尊顔を拝し奉りたいと切望するも叶わず。落賺らくたんするも夫婦同時に同じ内容の夢、即ち、一光三尊善光寺如来様が善光寺本堂の階段に鎮座ちんざしてみえる御尊像を拝したのでした。すぐさま奥家老を善光寺に差し向け確認したところ、夢に違たがう事無く善光寺如来様が階段に鎮座してみえたのです。まさに夢と現実が一致した靈夢れいむであり、人間が作った尊像そんざうではない証あかしなのです。ご夫妻が信仰された気持ち、信心の篤あつさと兜率天とそつてんにみえた善光寺如来様の気持ちが通じ合ったかたちです。気合いと即ち、気が通じ合う事であると思えます。例えば病気やまいも病やまいと気が合う状態に成る事でしょう。当山の七草法要は源光長公ご夫妻の事績に因る、誠に稀有けうな、有り難いご本尊様と縁が結んで頂ける、善入院にとって最も大切にしなければいけない行事なのです。このような史実の感得佛を御本尊としてお祀りしている寺は全国でも希まれです。

今月の二十七日（旧暦一月二十五日）は浄土教の祖、法然上人が亡くなられて八百年になります。浄土宗では八百年大遠忌だいおんき（一般家庭では法事の事です）を勤とめます。法然上人の御言葉によれば、日頃念佛申して、極楽へ参る心ある人ならば、まさに息の絶えようとする時、三尊善光寺如来 弥陀、観音、勢至 来たりて、迎え給うべし、と信じおぼしめすべきにて候」と、正に、当山のご本尊様と法然上人のお言葉が結びつくのです。皆様は神通力と言え、空海大師様を頭に浮かべると思いますが実は法然上人様にも神通力の話が伝わっています。法然上人絵伝」に暗闇で自分の眼から光を出して読書をする姿や、九条兼実殿に空中を飛ぶ姿を見せたり、色々あります。法然上人様は日に六万遍の念佛を申されました。八百年大遠忌を迎えるに中あたり、当山では大遠忌法要として念佛の修行をします。法然上人様の真似は出来様ありませんが日頃出来無い念佛を称え、法然上人様の足元へすがりつき何が何でも極楽の地に連れて行ってもらいましょう。たったの二週間で、一日一時間半です。期間中、縁が結べるように最低三回は出席して頂きたいと思っています。左記日程です宜しく

◎二月二十日～三月五日・十四時～十五時半まで

二十三年二月八日

善壽界善入院油掛地藏尊